

春爛漫 飛騨高山は見どころいっぱい



新穂高の湯

雄大な自然をバックに、野趣あふれる露天風呂で心も体もリフレッシュできるのが飛騨山脈(北アルプス)の麓に広がる奥飛騨温泉郷だ。平湯、福地、新平湯、板尾、新穂高の五つの温泉地の総称だ。

高山市内からバスで約1時間の距離にある。湯量豊富で、露天風呂は大小合わせて100カ所以上あり、その数日本一といわれる。新穂高ロープウェイや上高地、乗鞍スカイラインなど日本屈指の山岳勝地も近く、雄大な自然を感じることが

奥飛騨温泉郷



五つの温泉地が点在 100を超える露天風呂

とができる。おらぶら歩きにピッタリ。

新平湯 温泉は温泉水郷の中心にある。大型ホテルから和風旅館、民宿までさまざま。なタイプがあり、飲食店も多い。

板尾温泉は板の木が多くあつ



豪華絢爛な屋台。春と秋の屋台が揃うのはめったにない

新元号祝うイベント 21台の屋台が一堂に 5月1日開催

の「八幡祭」(同10月9、10日開催)の総称で、日本三大美祭の一つに数えられている。

屋台の特別曳き揃え

飛騨高山といえば、まず思い浮かぶのが春と秋に行われる「高山祭」。春の「山王祭」(毎年4月14、15日開催)と秋の「山王祭」(毎年10月14、15日開催)は、祭行事は国の重要無形民俗文化財。祭屋台は重要有形民俗文化財に指定されているが、2016年12月には「高山祭の屋台行事」がユネスコ(国連教育科学文化機関)の無形文化遺産に登録され、世界の祭りとしての地位を確保した。

山王祭とともに、今年注目

外国人宿泊者



着物を着て歩く外国人も増えている

4月以来となる。この時は「55年ぶりとなる総曳き揃え(飛騨・高山観光コンベンション協会)だった。めったに見られないイベントだけに、5月1日は貴重な機会といえる。

会場は高山祭の祭礼地域内からくりも演目も行われる。

提灯行列と手筒花火で

4月30日には新元号を提灯行列と手筒花火で祝うイベントが計画されている。観光客も参加でき、旅の思い出になりそうだ。

計画によると、場所は高山陣屋跡生橋間で、午後6時から8時ごろまで行われる。市民、観光客総勢5000人の参加を見込んでいる。雨天の場合は5月1日に順延する。

手筒花火は毎年8月9日の厄(や・く)にちなみ、厄払いを願いながら花火を打ち上げるが、提灯行列は初の試み。

18年は55万人 前年比8%増

飛騨高山を中心とした周辺地域には白川郷や石川県の金沢、富山県の五箇山など古き良き日本を伝える歴史的建造物や自然、伝統工芸、食文化などが連続と受け継がれている。

これらの地域は国際的にも評価が高。五箇山と白川郷の合掌造り集落は世界遺産に登録されて久しいが、2016年12月には飛騨高山の屋台行事(高山祭)も世界遺産に登録され、知名度が一気に上がった。

外国人の関心も高く、飛騨高山を訪れる旅行者も増加傾向にある。

高山市によると、18年の外国人宿泊者数は前年比8%増の55万3001人となり、過去最高を記録した。世界遺産効果もさだ。

外国人宿泊者数の地域割合の推移 (延べ人数)

年	アジア・中東	ヨーロッパ	北米	中南米	オセアニア	アフリカ	不詳	計
2011	63,825	14,630	7,370	1,675	7,420	80	—	95,000
2012	103,260	23,980	11,264	2,342	9,692	462	—	151,000
2013	157,896	36,707	14,458	3,102	12,667	170	—	225,000
2014	168,023	52,709	18,962	4,016	16,221	585	19,806	280,322
2015	210,976	70,232	21,771	3,898	18,342	900	38,352	364,471
2016	280,748	90,135	26,119	4,194	25,282	328	34,447	461,253
2017	305,870	86,027	27,858	5,657	26,031	1,276	60,760	513,479
2018	311,537	100,054	29,773	5,598	27,510	437	77,392	552,301
18/17	101.20%	116.30%	106.90%	99.00%	105.70%	34.50%	127.40%	107.60%

トピックス

温泉ガストロ 6月22日開催

平湯温泉一帯で温泉地を舞台に、その地域特有の食や自然、文化、歴史を歩くことによって体感できる「ONSEN・ガストロ・ミューズ・キング」。健康志向の高まりを背景に、新しい体験型旅行として注目を集めている。

昨年5月、奥飛騨温泉郷の平湯温泉一帯で初めて実施された。500人ほどが参加し、好評だったことから、今年6月22日に吉野。

歩いた後は温泉でゆっくり体をいたわ。参加費は大人3500円、小・中学生2500円。参加申し込み締め切りは5月末を予定していたが、3月中旬には定員の300人に達したため、受け付けは終了している。

参加者のお得な宿泊プランを用意している旅館・ホテルも多くあり、1泊して山間の豊かな自然を満喫してほしい。



春と秋にイベント 町並にぴったり

飛騨高山は江時代後期から明治時代に建てられた町家が残る。市内中心部にある古い町並は、着物姿にふさわしい。

料金は一ツ時間まで2500円(以後30分ごとに500円追加)。記念写真をプレゼントするほか、市内の観光施設に割引、または無料で入館できる通行手形も貸し出す。問い合わせは飛騨・高山観光コンベンション協会、0577(36)1011。

